

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	1437	課コード	1604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		○有 ○無		②部課名	生涯学習部・鳥の博物館		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成16年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.17人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,774千円 (うち人件費 1,581千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	51103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	学習の場の充実を図るため、公民館や図書館、鳥の博物館、白樺文学館などの施設の充実や、学習の拠点施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で学習ができるようにします。			事業目的	多くの市民に博物館常設展示に興味を持ってもらい、生涯学習、社会教育の場として活用してもらう。				
(3) 事業内容	内容	展示標本の一層の充実を図るほか、展示の潜在的な魅力を引き出すことのできるような工夫をこらした展示解説を行う。パンフレットの配布により、時代に合わせた情報提供を順次行う。また、階段壁面など開いたスペースを利用し、オーデュボンの図鑑など、館の収蔵する資料をより多く展示し、鑑賞してもらえるようにする。市内関連他社会教育施設との連携により、来館者の客層を増やす工夫をする。			当該年度執行計画	市民スタッフによる展示交流活動を体系的に実施する。壁面展示しているオーデュボンの図鑑を定期的に更新する。世界の鳥コーナーの分類展示の並びを新体系に改める。楚人冠記念館、白樺文学館とともに3館共通券を設定し、そのチケットを印刷する。合わせてPRのため、リーフレット、ポスターを製作する。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	人	想定値	31,000
当該(開始)年度	常設展の内容を少しずつ更新し、魅力のある展示構成にする。			直接	来館者数		人		実績値	0
3年後	常設展の内容を少しずつ更新し、魅力のある展示構成にする。			直接	来館者数		人		実績値	0
最終(概ね5年後)	常設展の内容を少しずつ更新し、魅力のある展示構成にする。			直接	来館者数		人		実績値	0
(7) 事業実施上の課題と対応	科学の進歩や展示技術の発展により、常設展示の内容や展示手法が陳腐化してきた。これまで蓄積した豊富な標本資料を活用したりリニューアル計画を進める。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		(経常)	(経常)		(経常)	(経常)		(経常)	(経常)	
		嚙託職員報酬	嚙託職員報酬	590	嚙託職員報酬	嚙託職員報酬	590	嚙託職員報酬	嚙託職員報酬	590
		嚙託職員社会保険料	嚙託職員社会保険料	79	嚙託職員社会保険料	嚙託職員社会保険料	78	嚙託職員社会保険料	嚙託職員社会保険料	78
嚙託職員雇用保険料	嚙託職員雇用保険料	10	嚙託職員雇用保険料	嚙託職員雇用保険料	16	嚙託職員雇用保険料	嚙託職員雇用保険料	16		
嚙託職員費用弁償	嚙託職員費用弁償	28	嚙託職員費用弁償	嚙託職員費用弁償	27	嚙託職員費用弁償	嚙託職員費用弁償	27		
市民スタッフ報償費	市民スタッフ報償費	316	市民スタッフ報償費	市民スタッフ報償費	316	市民スタッフ報償費	市民スタッフ報償費	316		
消耗品	消耗品	41	消耗品	消耗品	82	消耗品	消耗品	82		
印刷製本費	印刷製本費	347	印刷製本費	印刷製本費	493	印刷製本費	印刷製本費	493		
その他保険料	その他保険料	41	その他保険料	その他保険料	41	その他保険料	その他保険料	41		
展示標本借り上げ料	展示標本借り上げ料	400	展示標本借り上げ料	展示標本借り上げ料	400	展示標本借り上げ料	展示標本借り上げ料	400		
博物館備品購入費	博物館備品購入費	114	三館共通券5,000枚印刷	三館共通券5,000枚印刷	47	三館共通券3,000枚印刷	三館共通券3,000枚印刷	58		
			* 三館共通券販売促進パンフ3,000枚印刷	* 三館共通券販売促進パンフ3,000枚印刷	59					
			* 三館共通券販売促進ポスター200枚印刷	* 三館共通券販売促進ポスター200枚印刷	44					
予算(済)額	合計	1,966	合計	合計	2,193	合計	合計	2,101		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		1,966		2,193		2,101		2,101	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.21		0.17		0.15		0.15	
	正職員人件費		1,953		1,581		1,395		1,395	
	嚙託職員報酬額		590		590		446		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,919		3,774		3,496		3,496	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			0.1千円/人		0.12千円/人					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	閉館後20年経過し、科学の進歩や展示技術の発展により、展示内容や展示手法が古くなり、一部の展示の魅力が低下している。展示のリニューアルは大きなコストを要するものなので、長期的な計画のもとに常設展示の再構成とリニューアルをはかりたい。3階世界の鳥コーナーの標本の追加など、コストのかからぬ改良は、順次実施する。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			市民スタッフによる展示解説を行い、展示に親しみをもってもらう。				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>			鳥をはじめとする手賀沼の自然環境についても紹介している。				環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	32,000	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	847.91	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			